



松戸生まれの「二十世紀梨」の苗木が 21世紀の森と広場に里帰り

松戸市は「二十世紀梨」の原産地です。この梨は、明治21（1888）年に大橋村（現在の二十世紀が丘梨元町）で、当時13歳の松戸覚之助によって偶然苗木が発見されました。果皮が赤みがかかった赤梨に対し、この梨は、果皮が青く果肉が白く上品な甘みでみずみずしく、二十世紀を代表する品種になってほしいという期待を込めて「二十世紀梨」と命名されました。

原木は国天然記念物に指定されましたが枯死し、「二十世紀梨」は松戸市内ではほとんど栽培されなくなりました。「二十世紀梨」復活のために松戸覚之助ゆかりの市内の造園業者が、明治37（1904）年に鳥取県に渡った原木に近い親木の枝を取り寄せて接ぎ木し育て、この度21世紀の森と広場に「二十世紀梨」の苗木を定植しましたので、お知らせいたします。

●定植場所

21世紀の森と広場「みどりの里」エリア内（松戸市千駄堀269）

※別紙案内図

●期間

令和6年4月29日（月祝）～令和6年5月6日（月祝）午前9時～午後5時

●内容

二十世紀梨保存プロジェクト事業として梨の栽培に適した土壌改良等の環境整備及び「みどりの里」の一部約160㎡に**5本の苗木**の定植が完了しました。これに伴い、普段は鳥獣害対策等のためネットで囲まれ立入ることができませんが、多数の来園者が見込まれる上記の期間は多くの皆さまが自由に間近で観賞していただけるようにします。

また、期間中は定植場所に特設コーナーを設け、二十世紀梨の由来をはじめ、梨の花が咲くまでの成長過程や苗木が定植されるまでの施工過程の写真などを掲示し、来園された多くの方々に二十世紀梨を知って頂きます。また、松戸市立博物館内主題展示では、「二十世紀梨」の保存処理された原木と歴史を紹介していますので合わせてご覧いただければ幸いです。

【本件に関する問い合わせ先】

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀269

松戸市街づくり部公園緑地課21世紀の森と広場管理事務所

☎ 047-345-8900 FAX 047-348-4522

✉ mckouen21@city.matsudo.chiba.jp

21世紀の森と広場

案内図



二十世紀梨定植場所

二十世紀梨定植完了

ネットで囲ってます

